



# “源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和8年2月②  
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobbb.jp



## ◆荒川亀斎作「鳳凰の欄間」

小泉八雲が松江を離れてからもずっと交流を続けた荒川亀斎が長安寺に残したもう一つの作品は、本堂の左右の欄間4枚です。たいへん緻密な透かし彫りです。



↑ご本尊に向かって右側の2枚

左側にも対となる鳳凰が彫られています

- ・右上に落款が彫られています。
- ・左の欄間の左端にも落款ならびに落款印が彫られています。



### 附記1

朝ドラ「ばけばけ」で松平不昧公ゆかりの銘菓「若草」が使われました。松江歴史館には、藩命を受け安政2年に亀斎が作った和菓子木型が展示されています。綸子紋りんずもんが浮き彫りになっています。

### 附記2

荒川家は2代亀斎らいざん(萊山)、3代友山、4代亀堂、5代龍山と継承されています。長安寺山門には4代亀堂が彫った山号額が掛かっています。



亀斎は明治39年に数え80歳で亡くなりました。この欄間は前机と同じ明治37年78歳の時につくられた最晩年の作品といえます。

のみ鑿裁きは、後の版画家棟方志功にも劣らぬ命を削る如きと伝わり、亡くなるまで枕元には絶えず道具一式と未完成品が転がり、彫刻をこよなく愛した生涯であったと紹介されています。